

- 30) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討, 第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 新潟, 2024 年 3 月 8-10 日. 第 33 回日本有病者歯科医療学会学術大会プログラム抄録集 32 頁, 2024 年.
- 31) 山田 葵, 都野隆博, 永田昌毅: ヒト脱灰骨基質の骨再生足場材としての有用性, 新潟市, 2024 年 3 月 21 日-23 日, 第 23 回日本再生医療学会総会プログラム抄録集●頁, 2024 年
- 32) 相澤 有香, 凌 一葦, 高田 翔, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 鈴木絢子, 奥田修二郎, 富原 圭, 泉健次: 培養基盤の物性の違いによる培養口腔粘膜上皮細胞シートの遺伝子発現の比較解析, 新潟市, 2024 年 3 月 21 日-23 日. 第 23 回日本再生医療学会総会プログラム抄録集 548 頁, 2024 年.

【その他】

- 1) 吉田謙介: マウスモニタリングを始めよう～がん患者に必要な口腔ケア～, 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2023 シンポジウム, 2023年3月4日, ハイブリッド開催.
- 2) 吉田謙介: 多施設共同で取り組むがん化学療法患者の口腔粘膜炎対策～TAKT 研究の成果～, 関東ブロック学術大会 2023 シンポジウム, 2023 年 8 月 26-27 日, 新潟

口腔解剖学分野

【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. Oral Dis May;29(4):1622-1631, 2023.
- 2) Ida-Yonemochi H, Otsu K, Irié T, Ohazama A, Harada H, Ohshima H: Loss of autophagy disrupts stemness of ameloblast-lineage cells in aging. J Dent Res. 103(2):156-166, 2024.

【著書】

- 1) 大峽 淳: 歯と口腔の発生. 第 3 版口腔組織・発生学 (前田健康・網塚憲生・中村浩彰編).12-21 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023
- 2) 大峽 淳: 歯胚の発生. 第 3 版口腔組織・発生学 (前田健康・網塚憲生・中村浩彰編).22-28 頁, 医歯薬出

版, 東京, 2023

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 口蓋形成における X 染色体の不活性化の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 23K18354, 2023.
- 2) 大峽 淳, 川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2023.
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 歯の形成における DNA 損傷/修復のメカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 23K09434, 2023.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2023.
- 5) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 川崎真依子: 顔面発生における X 染色体不活性化. 第 65 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム, 新潟, 2023 年 9 月 16～18 日
- 2) 大峽 淳. MicroRNA は中顔面形成において老化シグナルを抑制している. 第 5 回オーラルサイエンス研究会. 新潟, 2023 年 11 月 19～20 日
- 3) 川崎 真依子. 顎顔面発生における X 染色体不活性化. 第 5 回オーラルサイエンス研究会. 新潟, 2023 年 11 月 19～20 日

【学会発表】

- 1) 目黒史也, 川崎勝盛, 川崎真依子, 北村円, Jean Rosenbaum, 大峽淳. 胎児酸素環境に依存した重層扁平上皮の発生機序, 第 5 回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟 2023 年 4 月 16～17 日
- 2) 川崎勝盛, 川崎真依子, 大峽 淳: 耳小骨形成における Shh の時間的量的重要性の解明, 第 111 回日本解剖学会関東支部学術集会, 新潟, 2023 年 9 月 2～3 日
- 3) 川崎勝盛, 川崎真依子, Finsa Tisana Sari, Vanessa Utama, 大峽 淳. 第 13 回繊毛研究会. 東京, 2023 年 10 月 23、24 日
- 4) Finsa Tisana Sari, Vanessa Utama, Katsushige Kawasaki, Maiko Kawasaki, Jun Nihara, Kazuaki Oosawa, Takehisa Kudo, Madoka Kitamura, Takeyasu Maeda, Atsushi Ohazama. MicroRNAs inhibit senescence in craniofacial

development. 新潟歯学会. 第2回例会. 新潟, 2023年11月4日

【受賞】

- 1) 目黒史也, 川崎勝盛, 川崎真依子, 北村円, Jean Rosenbaum, 大峽淳. 胎児酸素環境に依存した重層扁平上皮の発生機序, 第5回口腔医科学フロンティア研究会, 新潟, 奨励賞, 2023年4月16~17日

【その他】

- 1) 第5回口腔医科学フロンティア研究会 主催, 2023年4月16~17日, 新潟
- 2) 西村隆之, 小暮 悠杏; Canonical Wnt signaling in pre-migratory cranial neural crest cells determine their post-migratory cell proliferation in orofacial development; 令和5年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRIP) 大会; 川崎真依子 (ファカルティー アドバイザー)

口腔生理学分野

【著書】

- 1) 岡本 圭一郎, 長谷川 真奈: 口腔顔面痛の診断と療ガイドブック 第3版. 第2部 7.ストレスと痛み 第4部 6.運動療法-4)全身運動と痛み. 75-8, 177-8 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023年.
- 2) 岡本圭一郎 他: 人体の構造と機能・歯・口腔の構造と機能・疾病の成り立ち及び回復過程の促進 (担当:共著, 範囲:I編 SECTION14-26, II編 SECTION 4-5)医歯薬出版, 東京 2023年.

【論文】

- 1) Piriyastrasath K, Kakiara Y, Kurahashi A, Taiyoji M, Kodaira K, Aihara K, Hasegawa M, Yamamura K, Okamoto K: Preventive Roles of Rice-koji Extracts and Ergothioneine on Anxiety- and Pain-like Responses under Psychophysical Stress Conditions in Male Mice. *Nutrients* 15(18): Doi: 10.3390/nu15183989, 2023.
- 2) Piriyastrasath K, Hasegawa M, Kakiara Y, Iwamoto Y, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of stress contagion on anxiogenic- and orofacial inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. *Eur J Oral Sci* : e12942, Doi: 10.1111/eos.12942, 2023.

【研究費獲得】

- 1) 岡本 圭一郎: トレッドミル走がストレス誘発性の

顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 23K09391 2023年

- 2) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) 岩本 佑耶, Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: 雄マウスの咬筋持続的炎症モデルにおける不安および後肢痛様反応に対するアグマチンの予防的役割. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 2) Kajita Piriyastrasath, Yuya Iwamoto, Mana hasegawa, Yoshihito Kakiara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Effects of Rice-koji extracts and ergothioneine on anxiety- and pain-like responses under psychophysical stress conditions in mice. 第101回日本生理学会大会, 小倉, 2024年3月28-30日.
- 3) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎: ストレス伝染による咬筋侵害応答の増大と下行性疼痛制御系の変調について. 第28回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 筑紫野, 2023年11月17-19日.
- 4) 松尾小百合, 森川和政, 熊谷美保, 加藤哲也, 山村健介, 黒瀬雅之: 小型6軸センサを活用した簡易粘度計の実用化に向けた検討. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第34回学術大会, 大阪, 2023年10月29日.
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の変容を促した時の若年者と高齢者のガムチューイング中脳活動の変化. 第62回日本生体医工学会大会, 名古屋, 2023年5月18日.
- 6) Kajita Piriyastrasath, 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 藤井 規孝, 山村 健介, 岡本 圭一郎: ストレス伝染は吻側延髄腹側部を変調させる. 第65回歯科基礎医学学会学術大会, 東京, 2023年9月16-18日.
- 7) サンタマリア マリアテリース, 長谷川 陽子, 吉村将悟, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: Cognitive function-related changes due to masticatory behavior modification: Two randomized controlled studies by age. 一般社団法人日本老年歯科医学会第34会学術大会. 横浜, 2023年6月16日.
- 8) 吉岡 望, 黒瀬 雅之, 佐野 裕美, 知見 聡美, 山村 健介, 南部 篤, 竹林 浩秀: Dystonia musculorum マウスが示す運動異常における感覚運